

水田畑地化支援ツール 大分県版経営計画策定システムの作成

農業研究部 水田農業グループ

1. 研究の背景

水田への高収益作物を導入する上で、新規導入作物が経営にどう影響を与えるか試算し導入計画を作成することが重要である。そこで、現状の経営概況と新規導入作物および作付面積を入力することで、簡易に精度の高い経営シミュレーションが可能となるツールが求められている。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

シミュレーションツールとして、農研機構とJA全農が共同開発した営農計画策定支援システム(新Z-BFM)を選定した。試算の土台となる普通作品目は、各地域の作型や生産環境を考慮し、振興局単位の標準指標を作成した。高収益作物に関しては、県経営管理指標および事例調査で収集した指標データを使用している。なお、各指標に関しては普及指導員等が自由に改変できるよう別途計算用ファイルを準備している。



図1 新Z-BFMのトップ画面

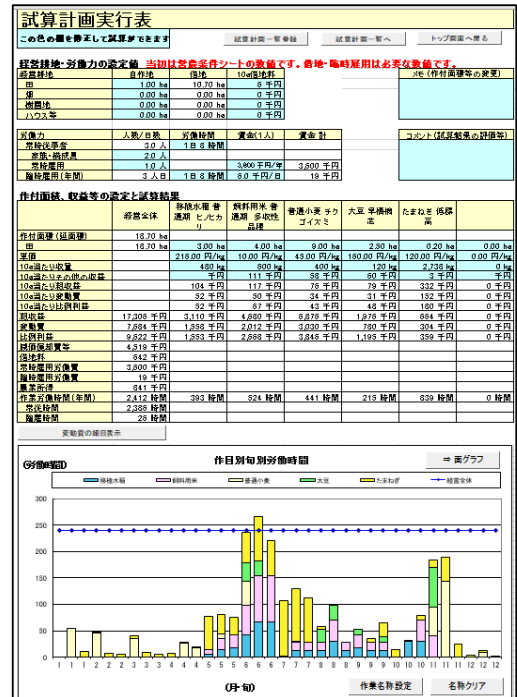


図2 試算結果の一例
品目別収支と時期別作業時間等が表示される。

3. 期待される効果

普及指導員が水田農業経営体に対して高収益作物導入の検討資料として活用することで、定量的に情報共有が行え、高収益作物導入の加速化につながる。また、普通作物に関しても品目選択や技術導入等の経営改善ツールとして活用できる。

新Z-BFMは無償で公開されているプログラムだが、県経営管理指標は県農林水産部職員並びに関係機関に限定して公開されているため、県経営管理指標のデータを使用する場合は取扱いに注意すること。

4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム

TEL:0978-37-1160 FAX:0978-37-1898 住所:宇佐市大字北宇佐65